

まちコツアカデミーの概要

「まちコツアカデミー」は、さまざまな分野で活躍する達人や、まちづくり先進地のリーダーを招いて、お話を聞き、情報交換を行うことによって、「まちづくりのコツ」をみんなで学ぼうというものです。

また、講演だけではなく、実際に講師の方が活躍する場所を訪ね、更なる理解を図ることや、地元の人々とのふれあいやネットワークを作っていくことを目的としています。

今年度は、NPO 法人 宮崎文化本舗の石田達也代表理事を招き、「芸術文化によるまちづくりと事務局代行事業による地域貢献」というテーマで講演会を開催し、石田氏のこれまでの活動の中での、苦労話や心がけていることなどをお聞きしました。

講演会

日 時：平成 23 年 11 月 11 日(金)

18:30～21:00

講 師：石田達也氏(NPO 法人 宮崎文化本舗 代表理事)

テーマ：「芸術文化によるまちづくりと事務局代行事業による地域貢献」

会 場：長崎歴史文化博物館ホール

参加者：77 人



講演会の様子



活動について熱心に話す石田さん

現地視察研修

日 時：平成 24 年 1 月 21 日(土)

～22 日(日)

参加者：31 人

1 月 21 日(土)

8:00	長崎出発
13:30	綾の森・照葉大吊橋見学
15:45	西都原考古博物館見学
18:00	自然休養村センター(交流会)

1 月 22 日(日)

9:00	青島駅見学
10:00	みやざき NPO ハウス見学
11:15	宮崎キネマ館見学
11:40	宮崎アートセンター見学
19:00	長崎到着





参加者報告

まちを活性化するための事業は、積極的に取り組み、採算ベースに乗らないものもノウハウ作りとして可能な限り続けておられ、結果広がり続けることが必要と感じた。

職員やガイドボランティアさんの質の高さを引き出す仕組みづくりは、他団体との協力・巻き込みや、目的と情熱を持った教育であることとわかった。

また、そのノウハウをもとに、高度な相談援助を行う「みやざきNPOハウス」の策士としての相談員の質の高さに繋がっているだろう。

長崎でも、そのような活動を行うNPOの育成が必要であるが、行政や社会福祉協議会がかかわり、中間支援団体も含め活動家の育成・見守りが必要と感じた。 綾部哲也

それぞれが持っている特技が絶妙に組み合わせられている、と感動しました。

博物館もアートセンターも、人がすごく近くにいて、見守られているような感じがするあたたかい施設で、かつ芸術的にも突出したクオリティを感じました。

自分ももっと社会を勉強し、自分達のまちづくりを少しでも前に進めていきたいと、あらためて感じました。 木村敏穂

宮崎文化本舗の方々にお会いして、共通で感じたのは、文化本舗事務局をはじめ、スタッフの元気の良さだった。

NPO として全国モデル例となるまでに成功できた理由は、スタッフが目標に向かって頑張る気持ちを一人一人が持つ、既成概念にとらわれない、失敗した時、壁にぶち当たった時は、どうしたら今の状況を切り抜けられるか自分達なりに知恵を出す、途中であきらめないことではないかと感じた。

特に、石田さんや黒木さんの笑顔の中に持つ鋭い眼差しからは、熱い想いがひしひしと伝わり、自分ももっと上を目指して頑張らなくてはという気持ちにさせられた。

座学だけでは得られない、とてもいい刺激を頂いたと思う。 高野 繭子

可能を可能にする軍団、あるいは思いをカタチに変える軍団。

個人的には、2回目となる宮崎文化本舗の視察研修で改めて受けた印象である。

強烈な個性と行動力、幅広い人脈を持つ理事さん達を中心に、ミッション達成に向けて、スタッフの皆さんが、心底、楽しんで活動されているのがひしひしと伝わってきた。

組織マネジメントをはじめ、熱くたぎる思いを人に伝え、賛同する人達を作り、ネットワークにつなげることの重要性。そして、何を行うにおいても、最終的には人と人とのつながりであること。

これらのことを念頭に置き、自分の個性や能力を磨きながら、もっともっと仲間を増やし、少しでも長崎市の発展に寄与したいと改めて決意した。 中村 雅博

宮崎文化本舗は聞きしに勝る NPO でした（本当に NPO かな？とも思いますが）。

① 特に入脈、今も未来も増殖中と思われず。

② 「気持ちよくだます」という言葉は誤解を招きそうですが、見習いたいと思います。

③ リーダーを始め理事さんたちの思いの熱いこと、それにも増して個性の強いこと。軋轢もあるようですが、それを上回る、相手を認めている・必要としている自覚。

④ NPO で働いている 30 歳くらいの青年に「将来に不安は無いですか？」と意地悪な質問をしましたところ、「不安だらけでやってますので、大丈夫です」との返事。恐れ入りました。

将来の不安を上回る夢・達成感、覚悟。

④ 一緒に行ったメンバーの中に国際協力で頑張っている若者がいた。こんな若者が長崎にいたとは、目からうろこ、感激しました。

私も負けなよう、地域に恩返し。頑張ります。 権藤 憲治郎

今までのまちづくりは町が抱える課題に目を向けて取り組むイメージでした。

しかし、今回の視察では自分たちが大切にしたいもの、誇りに思うものなど、その土地でしか出来ないことを考え、もっと面白い街にしようと前向きに取り組む姿勢を感じ、まちづくりに対するイメージが変わりました。

まちづくりにおいて、色々な人や団体のつながりや気軽に話ができる場面づくりなど改めてその重要性を感じ、そこにファシリテーターとしての役割や必要性を実感しました。

角野 悠

今回、宮崎文化本舗さんの視察旅行に参加して一番感じたのは、いい繋がりは次のいい繋がりを作っていく、という事です。また、自分達が面白さや必要性を感じた事は、前例がないからとか資金や人が集まらないからと諦めず、あらゆる手札を駆使し、失敗を恐れず、まずは挑戦するたくましさも感じました。色んなご苦労もちろん沢山あるでしょうが、スタッフの方々皆さん魅力的で、生き生きと向上心を持って関わっておられるのがとても印象的でした。楽しむ事、続ける事、大切にすね。

佐藤 恵

NPO 法人の取り組みをメインにした研修だったので、民間企業が同じような事をやる事が理想だとは思わなかった（最初から行政の補助金を目当てにした活動というのはどうもなじめない部分があった）が、商工会議所青年部(企業も)の地域貢献の在り方という点で考えさせられる研修だった。

青年部(企業)-市民-行政の連携で三者良しの事業がなにかできないか模索して行きたい。

また、何をやるにしても一番重要なことはやるという情熱だということは企業であれ行政であれ NPO であれ一緒だと感じた。

小林 央幸

私が宮崎研修で特に心に残ったお話は2つです。1つ目は NPO ハウスの壁を安い価格で塗装することが出来たというお話。本当に必要なのはお金ではなく人との繋がりだと思いました。2つ目は、NPO ハウスの家賃2万円を経費削減する為に出て行って今も存続している NPO は1つもなく、どうにかして家賃を払ってハウスで活動している団体は上手くいっているというお話。私は物事に取り

組む時、言い訳をせず腹を決めてやれているだろうかと思いました。

森山 美代

指定管理者の西都原考古資料館ではボランティアスタッフの案内を実際受けてみて、

詳しい説明と細やかな気配りなどボランティアの能力の高さと、その行き届いた教育がうかがえた。これは地元の NPO だからこそ地域と連携し、一体となって館の運営を支えることができているからなのでしょう。

また、自然休暇村では、「やる気」の塊みたいな支配人によって、苦労しながらも「俺がやってやる」の思いで施設の経営を立て直した熱い話しなど、素晴らしいスタッフと、いろんなアイデアによる運営がされていました。やはり成功の秘訣はその気にさせる

人脈なのでしょう。

神近 幸司

東日本大震災後の被災者の絆と鎮魂に伝統的な「祭り」が、必要とされた。国難と言える今、人の心に「文化」という栄養がいかに必要か、はっきりしたと思う。

宮崎文化本舗の「文化」による街興しは、「笑い」で禍の世に光を取り戻した、かの天岩戸伝説を彷彿させる。その強い「思い」が、人々の心を動かし、結び付け、新しい出会いを生み、多岐に渡る活動になったのだろう。最後は「人間力」が問われるのだと思った。

太田 恭子

この研修において、いろいろな団体の活動を見られて、また話を聞かせて頂き大変有意義な研修であった。

印象に残っているのは、宮崎に有名作家を呼んだ時に「宮崎を好きになってもらおう、ファンになってもらおうようにもてなした」とい

う話である。観光地長崎では、来訪者を迎える上でまさにそのような気持ちを持つことは大事であると感じた。来訪者に長崎を好きになって帰っていただき、帰った先で長崎を宣伝していただけるような魅力ある長崎のまちづくりが必要だと感じた。 大町清次郎

「限られた資金でやっていくために知恵をしぼる」

①西都原考古博物館：ボランティアガイドは交通費も食費も出ない。しかし登録者は58名いて質が高い（なぜか？）→毎月の研修および県外研修旅行は無料で受けられる。（好きなことを学べるし旅行もできる→モチベーションにつながる！）

②みやざき NPO ハウス：もとは県の独身寮だったところを借り受けて使用、改装にかかるお金はない（どうするか？）→壁の塗り替えは、業者に「どこかの建築現場で使ったあまったペンキをとっておいてもらい、いつでもいいので一番暇な時期にやってください」と依頼。そのため上の階と下の階では壁の色が異なる。屋上には太陽光発電装置。

「人が集まる仕組みを作る」（宮崎キネマ館）環境問題・高齢者問題などを扱った映画はいい作品でも人が集まりにくい（集めるには？）→その問題を扱っている団体（NPO等）にチケットを渡し売ってもらう。もちろんマージンは支払う。また上映の前に映画のテーマに沿った講演会を開いてもらう（興味のある人にとっては2度おいしい！）

「思いついたことはなんでもやってみる」（青島駅）

昭和30年代は観光拠点だった青島も今は人影まばら（何をするか？）→無人駅となったJR青島駅を活用し地域情報の発信やレンタ

サイクル、アウトドアスポーツの拠点とする。事業として上手くいっているとは言えないが「トライ&エラー」も必要。

（失敗例もあえて紹介してくださる懐の深さ！！） 平山由美

（出発） 出発の集合場所を長崎市役所横と勘違いしてしまい、ランタナの前田室長に慌てて場所を確認し、無事間に合いました。研修に同行する30人のメンバーは、ランタナのスタッフ以外はほとんど面識がなく、「今回は無口を通すことになるかもしれない」と少々不安な気持ちで出発。

（綾の森）長崎にも素晴らしい大自然の場所はあると思っていましたが、綾の森に足を踏み入れ深呼吸した時、「なんだこれは！」と感心してしまいました。さすが「森林セラピー」とパンフに謳うだけあって、今まで感じたことのない癒しの空間であることを思い知らされました。「てはるの森の会」をはじめとする皆さんが、どれほどの苦勞してこの環境を維持しているかと思うと、頭が下がります。

「照葉大吊橋」は怖すぎます。家族にその話をしたら、全員に笑われました。

（西都原考古博物館）この博物館の空間デザインや、実物を触らせるなどの展示方法を目にして、とても衝撃を覚えました。今まで観てきたどの博物館にもない斬新なコンセプトはとても参考になりました。特に素晴らしかったのはボランティアの方の説明。あたかもその現場を見てきたかのような、リアリティーのあるすてきな解説でした。

（自然休養村センター）即座に肌がスベスベになる良質の温泉を採用しているすてきなセンターですが、最大の魅力はなんとと言っても支配人の黒木さんのお人柄でしょう。センター

を切り盛りするパワーと、おもてなしの心を
忘れないその姿勢は、とても参考になりました。

(青島駅)乗り捨てサイクリング「レンタサ
イクル」をはじめとする「コンシェルゼあお
しま」の各スポーツサービスは、南国の地宮
崎らしい企画だと思います。残念ながら、そ
のよさを感じる事の出来ない季節に来てし
まいました。

(みやざきNPOハウス)宮崎県NPO活動支
援センター長井上さんに、プロの漫談のごと
く悠長なおしゃべりで、宮崎県内のNPOの
活動を説明していただきました。あらゆる組
織との駆け引きの妙は、なかなか真似するこ
とが出来ないかもしれませんが、とても参考
になりました。

(宮崎キネマ館)映画は、石田理事長の活動
全ての根底に流れていると思います。その想
いを感じさせるキネマ館でした。劇場マネー
ジャー名田さんから同じ思いをお持ちなの
でしょう。

(宮崎アートセンター)この施設の空間は、
長崎には無いものです。きっと長崎のみなさ
んがとても欲しがっているものでしょう。こ
の春2月から開催される「辻村寿三郎展」に
は是非行ってみたい。何よりスタッフに美人
が多いのはとてもすばらしい。

上記に「少々不安な気持ち」と書きました
が、研究を終えてみると、とても寂しいもの
を感じてなりません。宮崎文化本舗の
みなさんの暖かさと共に、長崎から同行した
とても誠実なメンバーの直向さを知り、「長
崎・宮崎の同土を得た」ことに気づいたから
だと思います。

今回の研修に声を掛けていただいた「長崎
伝習所まちコツアカデミーに心より感謝いた

します。この経験が無駄にしないよう、「長
崎のまちづくり」のめために力を惜しまず貢
献したいと思います。 野中秀樹

「綾の森」「宮崎文化本舗が関連するところ」
を見学し、実際に現場を見ながら、石田
さん、花堂監督、井上さん、相馬さん、宮崎
文化本舗の人達から、熱い思いの成功談・失
敗談を聞き、熱く語りました。そして、まち
づくりに対する思いやパワーを貰いました。

熱い思いを持っている人の繋がり、集まり、
その中で、きちんと核に成るべき人がいて、
その周りに人が集まり、人・地域・ニーズに
あったものを合ったまちづくりが、いいまち
おこし、地域活性に繋がると考えます。まち
づくりの第一歩は人です。人の輪、絆、つな
がりだと思います。

「人は街が造る・街は人を造る・人が街を
好きになれば、街は良くなって行く。街に興
味を持つ事・感心を持つ事がまちづくりの第
一歩です。」この事を大人だけでなく、小学
生・中学生・高校生・大学生など未来の長崎
に住む人達にも伝えて行きたいです。梶聖悟

今回の宮崎の視察で印象に残ったのは、考
古学博物館とアート館でした。

博物館では、施設の充実としっかり勉強さ
れているガイドさんの説明に、感動しました。

アート館では、絵本・大型絵本や書物がた
くさんあり、子どもたちが安心して遊べ、物
(アート)を作ることのできる部屋があって、
いいなと思いました。アート館で教えていた
だいたワックスボールは、さっそく来年長崎
で開かれるジュニアリーダーの九州大会でチ
ャレンジすることになりました。今から準備
やアレンジをして、たくさんの人に教え伝え

ていけたらいいなあと思っています。3年間、やねだん・別府・宮崎といろんな人と話をし、活動を見てきました。

その3年間で学んだことと人の輪を大切に、今からの自分の活動に活かしていきたいと思います。 池田安芸枝

本研修で特に意義深かった点は、宮崎文化本舗様の発足経緯・その後の事業内容の変遷及び現在の事業を知ることができた点だ。当初は映画文化の復興というミッションでスタートしたが、その後自然保護等経営の多角化に乗り出し、客観的に成功している点に、私が所属する団体をだぶらせた。弊団体も経営の多角化を選択するか否か、選択するとしてもどこまで手を出すか苦心しており、その分今後の団体運営に参考になった。

田邊公平

参加者名簿

綾部 哲也	まちコツ講演会参加者
池田 安芸枝	〃
大神 健治	〃
太田 恭子	〃
大町 清次郎	〃
小川 珠美	〃
梶 聖悟	〃
神近 幸司	〃
権藤 憲治郎	〃
佐藤 恵	〃
野中 秀樹	〃
東 宏之	ファシリテーター養成講座参加者
井上 馨	〃
大木 孝子	〃
太田 勝元	〃
角野 悠	〃
木村 敏穂	〃
小林 央幸	〃
高野 繭子	〃
田邊 公平	〃
塚原 仁人	〃
中村 雅博	〃
平山 由美	〃
森山 美代	〃
松本 俊一	〃
大串 秀人	事務局
原田 宏子	〃
岡本 勇一	〃
生駒 太一	〃
吉岡 利章	〃
佐々田 隆子	〃